

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【日浦小学校】

<第1・2学年：生活科「ぐんぐんそだてわたしの野菜い」>

4月、昨年度の1、2年生が育てたタマネギを収穫した児童は、「タマネギを食べたいな」「自分たちも育てたいな」という思いや願いを膨らませていった。そこで、野菜クイズをみんなで楽しんだり、タマネギを使った料理を出し合ったりして野菜への興味関心を高めた。その後、児童は、自分が育てたい野菜を一人一人が選び、栽培活動をスタートした。「ぼくの、わたしの野菜」という気持ちが日々の観察や水やりなどの栽培活動を支えていった。

収穫を迎えた児童の喜びは、いろいろな活動をつくりだしていった。採れた野菜を使って八百屋を開き、全校の児童や教師にお客さんになってもらい、全校で収穫の喜びを共有した。また、保護者を講師に招き、スイートポテトやカブのシチュー、白菜のみそ汁作り体験を楽しんだ。

<第3学年：総合的な学習の時間「日浦の名人さがし」>

本単元は、探究課題「まちづくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織」を踏まえて構想した単元である。日浦地区の特徴やよさ、それらを支える人々を誇りに思い、地域の一員として自分たちにできることを考えて行動できるようにすることをねらいとした。

「名人さがし」の探検で出会った飲食店を営む「メニュー開発名人」は、「お客さんに旬の味を楽しんでもらいたい」と、季節によって具材を変えた「石手川ダムカレー」を提供していた。児童は、日浦小で採れた食材を用いたメニューを、名人と共同開発することになった。生活科で育てたジャガイモを飲食店に持ち込み、考案した「じゃが天アイス」は、期間限定のデザートメニューとして販売された。「ほくほくとした触感とアイスの冷たさが最高」と大好評だったようだ。フードビジネスの楽しさややりがいを感じることもつながった。

